

「世の光」 —先週の講壇より—

「イエスは再び言われた。『私は世の光である。
私に従う者は闇の中を歩まず、命の光を持つ。』」ヨハネ8：12【共同訳】

私たちの教会は、現在の教会堂が建ってからそろそろ30年になります。建物がそれなりに年月を重ねてきましたので、あちこちに不具合が出てくるようになりました。ヒーターが壊れたり、シロアリが発生したり、トイレが水漏れしたり、戸棚が壊れたり・・・。

これは建物でもそうですが、人間においても同じことが言えるでしょう。体のあちこちが痛んだりするわけですが、その心にも多くの傷や不安を覚えたり、若い時には考えなかったようなことを次々と思いめぐらすこともあるのではないのでしょうか。

ヨハネ6章にある“姦淫の女”の時期を読むと、年を取った者から去って行ったと書かれています。自分がどのような者であるのかを悟る、自覚するのは、やはり年を取った者からだということなのでしょう。

しかし世の光であるイエス様が与えるものは、愛と赦しの恵みです。明日を生かし、永遠への希望に満たして下さる。それがイエス様が放って下さる救いの光です。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わせず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2024年2月25日

オレンジ郡 キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org
4872 Bishop St, Cypress, CA 90630
Facebook: オレンジ郡キリスト教会
ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】
「主を仰ぎ見て、光を得よ」
詩篇34：5

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:20

礼拝は短縮して持たれています。
礼拝後のバイブルスタディ、平日のクラス
などは、現在休止しています。

